

優秀賞

よく見て歩こう青信号

福岡市立和白東小学校 6年 本田 龍真

ぼくは「車に気をつけなさい」とよく言われていたけれど「分かった」と言いながら、どのように気をつけたらいいか分かっていませんでした。特に青信号は安心しきっていて、確認をしないでわたっていたことが、しばしばありました。

そんなある日、思いもよらないことがおきました。学校の帰りに、青のうちに横断歩道をわたりたかったぼくは、急ぎ足で横断歩道をわたっていました。すると、右側からなにかがぶつかりました。ぼくはとばされてしまいました。気がつくと、前にトラックがいました。ぼくは、道を曲がってきたトラックとぶつかってしまったのです。

運よくケガは軽くすみましたが、あとでけいさつの人から一歩まちがったら車の下じきになっていたかもしれないと聞きました。ぼくは少しこわくなってしまいました。曲がってくるトラックからは、子どもの姿は見えにくいらしいです。ぼくは、青信号でよく左右の確認をしないことがあったので、今までは運がよかっただけだということを実感しました。

それからぼくは、急いでいるときでも青信号でも左右の確認をするようにしています。そして、ぼくが大人になって車の運転をするようになったら、道を曲がるときには特に子どもがいないかを気をつけて見ようと思いました。

青信号で安心しきっているとぼくのようなことがおこるかもしれないのでみなさんも横断歩道をわたるときには気をつけてください。